

## 2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人みい青年会議所	
事業名	5月例会事業 伝える力～相手の心に変革をもたらす話法～	
事業担当者	守屋彩乃	
事業担当者連絡先	Tel: 0 9 0 - 9 5 7 8 - 2 4 6 8	Mail: ayano0817@gmail.com
実施に至った背景	<p>みい J C は会員の減少という問題に直面しており、組織存続には会員の拡大が急務となっております。メンバー一人ひとりがみい J C における活動の魅力を対外に向けて効果的に発信することができれば、会員拡大は成功します。その一方で、みい J C での活動や得られる学びを簡潔にまとめ、第三者にその情報を発信する力に自信を持っているメンバーは多くありません。メンバー個々が情報発信力を向上させ、組織の魅力を対外的に周知させる基盤作りが求められています。</p>	
事業の目的	<p>相手の次なる行動を促すことができるような「伝える力」を向上させる基本的な考え方を習得し、あらゆる場面でみい J C の活動や魅力を分かりやすくかつ説得力をもって「伝える」基盤の構築を目的とします。</p>	
事業の概要	<p>メンバー個々の「伝える力」を醸成するために、みい J C の活動やそこから得られる学びをわかりやすく第三者に伝えるスピーチ話法の習得に着目した勉強会を開催します。</p> <p>また、外部の知見を導入し、スピーチ手法の基礎を底上げするために公式な J C プログラムの「スピーチ」カリキュラムを実施できる講師を招き入れ、説得力を向上させるスピーチのトレーニングを実施します。</p>	
広報戦略	<p>対象者</p> <p>正会員、仮入会者、仮入会候補者、外部監事</p> <p>実施日</p> <p>2024年5月8日</p>	
実施による工夫	<p>実際に実施組織である委員会メンバーには事前に J C プログラムの「スピーチ」カリキュラムを受講し、少人数 LOM という特徴をもつみい J C の実情に合わせた実施方法を委員会内で協議しました。その結果、会員の拡大というテーマに重点</p>	

	を置き、講師である JC プログラムヘッドトレーナーとの綿密な打ち合わせを通し、会員拡大対象者に対しての話法を交えた実践を行う事業を構築しました。			
事業の参加者	会員数	15名	参加率	100%
	対外目標	6名	達成率	16.7%
事業対象者	正会員15名、仮入会者2名、仮入会候補者4名、外部監事1名 計 22名			
開催期間日時	2024年5月8日(水) 18:00~18:30 受付 18:30~19:00 例会セレモニー 19:05~20:55 例会事業 20:55~21:10 監事総評 21:30~ 懇親会			
開催場所	人権教育啓発センター 大集会室(福岡県小郡市小郡296)			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続			
結果	事業実施後に行ったアンケートにおいて、参加者15名中14名が本事業で得られた学びを通じて、第三者に JC の活動内容や魅力を「伝えることができる」もしくは「少し伝えることができる」という前向きな回答を得ることができました。			
LOM や地域社会への影響	本事業を通して多くの学びがあったという意見をいただきましたが、中でもスピーチの構成要素について、スピーチを行う目的設定の方法について、そして反復練習を行う重要性については特に触れられていました。上手に話すことに意識が向き、かえって伝えたいことが伝わらないという問題に対して、スピーチの木上設定や基本的にスピーチの構成に意識を向けることが伝わるスピーチの本質であるということが LOM 内での気づきとなりました。			
事業の長期的な影響	その後、メンバーがスピーチを行う場面では、自信をもって話す姿、そしてしっかり内容が伝わるスピーチが実践されています。また、JC 会員になるメリットの			

	<p>ひとつとして、このようなプログラムが準備されていることも新規メンバーの入会目的にもなっています。</p>
<p>考察や推奨</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチをする際、話す内容について意識がいきがちですが、本プログラム受講を通じて、本質であるスピーチの目的設定や聞き手に話を聞いてもらいやすくするための工夫という新たな視点をメンバーに気づいてもらうことができました。</li> <li>・事業実施前に行ったスピーチに関する悩み調査であがっていた「視線の合わせる場所が分からない」「言葉のひげ」「内容の構築の仕方が分からない」の項目については本事業の中で講師より説明をいただき、実践する場面もあったので、伝える力の基礎作りに貢献できたと考察します。</li> </ul>

事業風景(写真)



